

《冬道の事故防止》

- 信号の変わり目を予測し、無理な通過はしない
- 黄色信号は、「止まれ」です
- 発進時の「追突」に注意しましょう
- 交差点手前、滑って交差点内で衝突！ 注意しましょう
- 凍結路面 スピードダウンと車間距離

急ブレーキ・急ハンドル・急発進
「急」のつく操作は、スリップの原因

事故防止のため、「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

構内・バック事故の根絶

《冬期間の労働災害防止》

- 走るな！、転ぶぞ！、屋外作業、凍結路面は目に見えないぞ！
- 寒い外、心も体も、冷えている、あせると危ない、冬の外仕事
- 作業中、足を滑らせ、『転倒』に注意しましょう

- 作業する時、トラック(荷台も)に乗る時、降りる時は安全靴の底の雪を落とす
- トラック(荷台も)から降りる時は、路面の状況を確認し、飛び降りることは厳禁
- ポケットに手を突っ込んで歩かない
- 積雪時の構内、現場内は細心の注意を払い、常に足元の確認

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

気のゆるみ 事故は一瞬 命はひとつ
「ぼーっと運転」、漫然運転は死亡事故リスクが高い！
ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故

路線バスが軽貨物に追突
バスの乗客など4人が軽傷、病院に搬送
軽貨物は左折のため減速していました

2025/1/28(火)

28日午前10時40分頃、新潟県の市道で左折するために減速した軽貨物に路線バスが追突しました。この事故で軽貨物の男性運転手とバスの乗客3人が軽傷を負いました。4人は病院に搬送されています。

午前8時半 見通しの良い国道交差点
横断歩道を渡っていた女性
ワゴン車にはねられ、意識不明の重体

2025/1/27(月)

27日午前8時35分ごろ、岩手県の国道交差点で横断歩道を渡っていた女性（40）が、右から来たワゴン車にはねられ、頭などを強く打ち病院に運ばれ、意識不明の重体となっています。現場は見通しの良い交差点。警察はワゴン車を運転していた会社員の男性容疑者（51）を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕し調べています。

午後6時半 どちらかが対向車線はみ出し
ワンボックスと乗用車が正面衝突
ワンボックスの男性、足の骨を折る重傷

2025/1/28(火)

27日午後6時半ごろ、長野県の県道でワンボックス車と対向車線を走っていた乗用車が正面衝突しました。ワンボックス車を運転していた男性（68）が右足の骨を折り重傷。乗用車を運転していた男性（30）が足などに軽いけがをしました。警察はどちらかがセンターラインをはみ出した可能性があるとして原因を調べています。